

工場の環境保全対策

環境負荷の少ない生産活動を進めるため、 エコファクトリー化を進めています。

各生産拠点に、より効果の高い環境技術や設備を積極的に導入し、環境負荷の少ないものづくりを具現化するための生産インフラを構築しています。また景観面での効果も期待できる工場緑化にも取り組み、地域との共生を図っています。

工水浄化システムによる薬品使用量ゼロ化

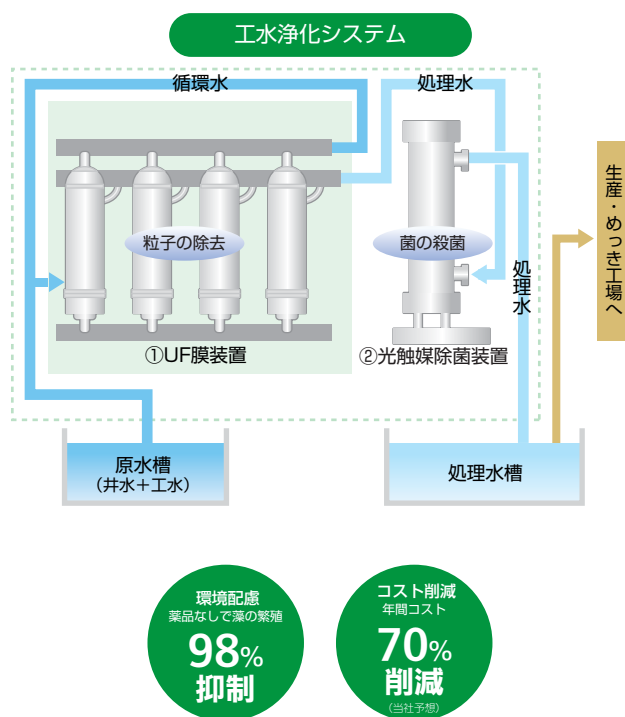
豊田工場に新設しためっき工場に、工業用水を粒子の除去と除菌の併用効果で、水道水レベルのきれいな水にする「工水浄化システム」を導入しました。

これにより、水質維持のために使用される除菌用薬品などが不要となり、薬品使用量ゼロできれいな水が生産できるようになりました。また、水がきれいになったことで、製品の品質もより安定します。



▲工水浄化システム

■浄化フロー



工場緑化の推進

2007年7月、本社工場内に完成した新電波実験棟の外壁 400m² を緑化しました。外壁を植物で覆うことは輻射熱を防ぐ効果があります。今回の緑化で建物内の温度上昇を軽減することができたため、空調の運転時間を短縮しました。

また、地域景観との調和という意味でも工場緑化は効果的であるため、他の拠点にも展開を進めていきます。



▲新電波実験棟西側外壁